

地域での行事・イベントなど、取材のご連絡
をお待ちしています。企画政策課広報統計係
☎ 0993(76)1508 までご連絡ください。

旬感まちかど

感謝と共に来年の豊作を願う



12月11日、内山田小学校の全児童11名が同地区に伝わる収穫祭「亥の日の餅（いのひのも）」を地域住民と共に行いました。子だくさんのイノシシにちなみ、亥の日に子孫繁栄・無病息災・来年の豊作を祈るもので、餅を詰めた藁の筒を囲み、“雄牛が背負えないほど沢山のお米を”という内容の「メモモの歌」を元気良く歌いました。大富花恋さん(5年生)は「歌詞が面白くて楽しい。来年もたくさんのお米ができて欲しい」と話しました。

地域の史跡をきれいに



12月23日、加世田常潤高校の生徒と教職員約50名が地域貢献活動の一環として、竹田神社のいにしへの道や同校名の由来でもある常潤院跡周辺をボランティア清掃しました。約1時間の清掃で落ち葉やゴミなどが取り除かれ、より風格ある史跡となりました。参加した生徒は「とても神秘的な場所、たくさんの人に気持ちよく訪れていただきたい」と達成感に満ちた笑顔で話しました。

個人優秀賞と学校賞のダブル受賞



第40回全国中学生人権作文コンテスト鹿児島県大会において、万世中学校の三原愛子さん(2年生)が優秀賞を受賞し、同校において表彰式が行われました。受賞した作品は、通学中の出来事を題材として人権感覚にあふれる素晴らしい内容と評価を受けました。三原さんは「人権問題ははじめや障がい者など様々。たくさんの人に色々な場面で考えてもらいたい」と話しました。なお、長年にわたり作品を提出していることから、同校も学校賞を受賞しました。

ヘアドネーションに理解を



12月13日、加世田ライオンズクラブが結成60周年記念事業の一環として、親友の病気をきっかけに自分の髪の毛を伸ばし寄付する少女の物語「31センチの約束」21冊を、市内小・中学校・義務教育学校および市立図書館へ寄贈しました。同クラブは、病気の治療で髪を失った子どもに医療用ウィッグを贈るヘアドネーション普及活動に約3年前から取り組んでおり、安藤順子会長は「善意の輪が広がることを願います」と話しました。